

COOP NAGANO GUIDE 2025

コープながのガイド



コープながの

「ともに」の力で、笑顔の明日を



《 コープながの理念 》

CO・OP ともに はぐくむ くらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、一つひとつのくらしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と平和な未来を追求します。

《 コープながのビジョン2035 》

食べるしあわせ、自分らしいくらし
「ともに」の力で、笑顔の明日を^{あした}

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

SDGs

(持続可能な開発目標)

について

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。コープながのの取り組みは、SDGsの実現につながっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



〔 コープながのは生活協同組合です 〕

生活協同組合 (=生協) って何でしょう？

生協は消費者一人ひとりが、くらしのさまざまな願いを協同し、その願いを実現するために、事業や活動を通して助け合う消費者の自発的な組織です。日本では「消費生活協同組合法」に基づいて設立され運営しています。

生協がすすめてきたこと

生協はこれまでの長い歴史の中、不必要な添加物を減らした商品や地球の環境負荷を減らす商品、アレルギー表示の開始…など世の中に先駆けて、消費者視点でのコープ商品や産直商品を提供してきました。生協が開発した当時は“特別”だったものも、時代を経て世の中の“当たり前”になったものが数多くあります。商品検査や、商品が消費者の手元に届くまでの品質保持や温度管理の徹底など、フードチェーンでの安全にも取り組んでいます。

生協は3つの柱で成り立っています

出 資

生協を運営する
事業資金などとして
活用されています

利 用

組合員みんなで
商品やサービスを
利用します

運 営

運営の主役は
「組合員」です

出資…組合員になる時に生協に預けていただく出資金は、商品調達や事業の運営に活用されています。

利用…組合員は商品を購入するなど、さまざまなサービスを利用します。

運営…生協の組合員になり、利用・参加することすべてが生協の運営にかかわります。

組合員の権利

協同組合の組合員は、出資金の多少にかかわらず同じ権利があります。

通常総代会・ブロック別総代会議（機関会議）

生協は年1回開催する「通常総代会」で議決された年度の方針（運営や活動の方向性）に沿って運営されています。但し、組合員全員が集まって話し合いをすることはできないので、組合員の代表となる「総代」を選出します。総代は通常総代会で方針案について決議を行います。また、総代と理事会とのコミュニケーションの場として年に2回のブロック別総代会議と年度のまとめについてご意見をいただく機会を設けています。出された意見は、まとめや方針に反映され、組合員が運営にかかわる大切な場となっています。これらの会議は機関会議に位置付けられています。



「コープながの」の組織

コープながの概要

[2025年3月20日現在]

名 称	生活協同組合コープながの
本 部 所 在 地	〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668番地
設 立	1992年9月21日
代表理事理事長	丸山 辰明
組 合 員 数	34万2,769人
出 資 金	136億3,545万円
事 業 高	463億4,560万円
事 業 領 域	コープデリ宅配センター : 12 コープデリ店舗 : 2 移動販売車 : 2 学校職域事業、共済事業、福祉事業（3センター、2宅老所）、共済・サービス事業・保険



コープながのは、コープデリ連合会に加盟する6つの生協（コープながの・コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープデリにいがた）とコープデリ連合会およびそのグループ会社で構成されるコープデリグループの一員です。コープデリグループは、消費者・組合員のくらしへの貢献を目指して、同じ理念とビジョンを掲げています。

コープデリグループ

[2025年3月20日現在]

コープながのが加入するコープデリ連合会概要

名 称	コープデリ生活協同組合連合会
本 部 所 在 地	埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
代表理事理事長	熊崎 伸
会員生協計組合員数	545万人
事 業 高	6,179億円



事業所一覧

コープながの本部
(長野市篠ノ井御幣川668)

総合企画室

■くらしの困りごと総合窓口
(くらしサポート活動 まごころ)

福祉センター長野

■居宅介護支援 ■訪問介護

共済センター

学校職域センター

(株)コープデリ保険センター
長野支店

(株)コープデリサービス住宅事業部
長野・群馬・新潟営業所

コープデリ中野センター
(中野市大字吉田片塩境22)

コープデリ長野センター
(長野市大字村山482-3)

コープデリ篠ノ井センター
(長野市篠ノ井御幣川656)

コープデリ上田センター
(上田市上塩尻峠崎313-1)

コープデリ佐久センター
(北佐久郡御代田町御代田聖原1062-2)

コープデリ池田センター
(北安曇郡池田町会染9011-16)

コープデリ安曇野センター
(安曇野市豊科高家1159-4)

コープデリ塩尻センター
(塩尻市大字広丘野村3033)

コープデリ木曾センター
(木曾郡上松町大字萩原1019-2)

コープデリ諏訪センター
(諏訪市大字湖南字城下3174)

コープデリ伊北センター
(上伊那郡箕輪町大字三日町1396-2)

コープデリ飯田センター
(飯田市松尾寺所7312)

錦町ステーション

(飯田市錦町2-25-1)

協栄流通(株)

須坂グロサリー集品センター

(須坂市井上砂田1700-11)

協栄流通(株)

塩尻要冷蔵集品センター

(塩尻市宗賀本山4145-1)

福祉センター長野

長野北事業所

(長野市塩田2-6-22)

■居宅介護支援 ■訪問介護

■こーぶの家 まゆみだ

上田古里ステーション

福祉センター上田

(上田市古里742-4)

■居宅介護支援 ■訪問介護

■宅老所こーぶの家 保野

■宅老所こーぶの家 国分

コープ長野稲里店

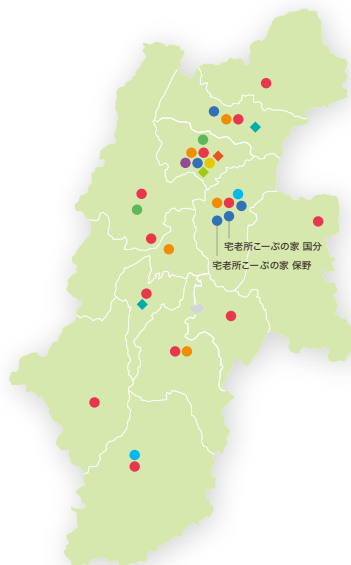
子育て応援センター

きらきざきず・いなさと

(長野市稲里町中央3-38-1)

コープ安曇野豊科店

(安曇野市豊科2637-4)



● 宅配センター	12
● 夕食宅配	5
● 店舗	2
● 福祉センター 3 宅老所	2
● 共済センター	1
● 学校職域センター	1
● ステーション	2
◆ (株)コープデリ 保険センター 長野支店	1
◆ (株)コープデリサービス 住宅事業部 長野・群馬・新潟営業所	1
◆ コープデリ集品センター	2

コープながののあゆみ

1992年	学校生協・南信生協・長野生協・県民生協の4生協が合併し、「生活協同組合コープながの」発足(9月21日)
1994年	長野電鉄生活協同組合と合併(3月)
2005年	生活協同組合連合会コープネット事業連合に加入
2006年	コープネットグループ共通の理念・ビジョンを作成
2007年	共同購入商品案内「ハピ・デリ!」をコープネット事業連合と統合
2008年	宅配事業の物流施設・機能をコープネット事業連合と統合 コープ共済連に加入
2011年	コープデリ・コープステーション(大型・地域)の開設・展開を開始
2012年	移動店舗事業を、コープ長野稲里店を母店に長野市でスタート コープの葬祭事業(コプセながの)をスタート
2015年	優良な「子育てサポート」企業として厚生労働大臣特例認定「プラチナくるみん認定」を取得
2016年	長野県の「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を取得
2017年	「コープネット事業連合」から「コープデリ生活協同組合連合会」へ組織名称を変更
2022年	コープながの創立30周年

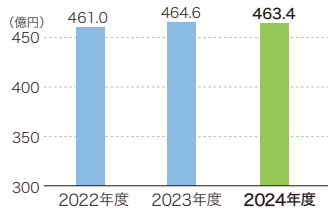
財務データ

2024年度の事業と組織の到達点

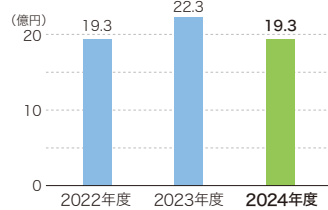
引き続き多くの商品が値上げになる中、生活に役立つ商品を値下げする“くらし応援キャンペーン”を宅配・店舗にて実施し、組合員のくらしを守る取り組みをすすめました。宅配事業ではインターネット注文登録の推進を、店舗事業ではお買い物サポートカーの本格稼働をはじめました。

2024年度の総事業高は予算を上回りましたが、前年を下回り減収に、経常剰余金は予算は上回りましたが、前年を下回り減益となりました。組合員数は34万人を超え、342,769人となりました。

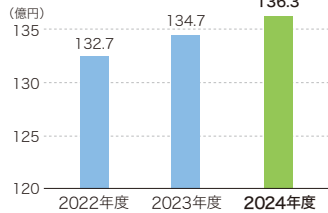
● 総事業高 年度別動態



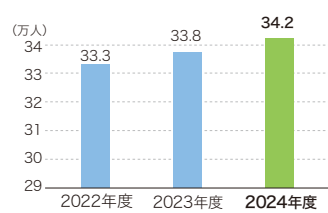
● 経常剰余 (経常利益) 年度別動態



● 出資金 年度別動態



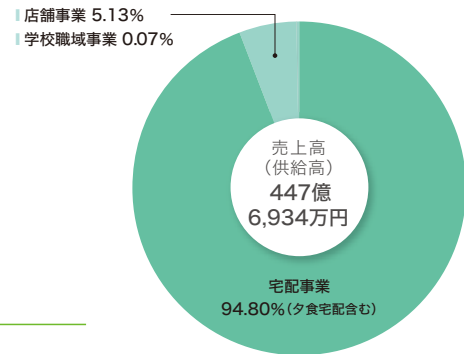
● 組合員数 年度別動態



損益の状況 (単位: 千円)

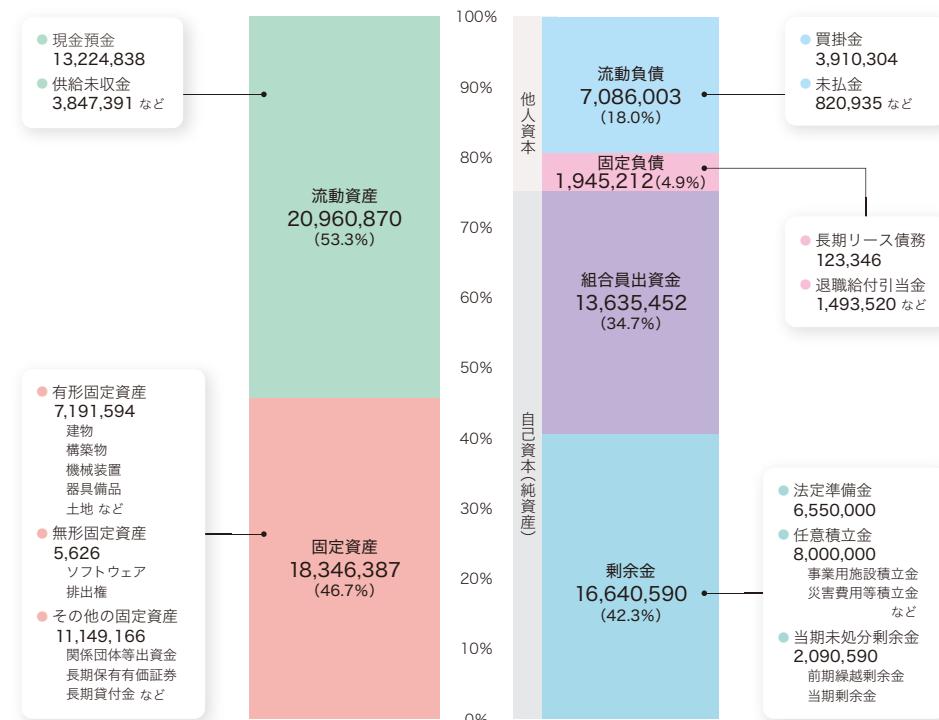
項目	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比
売上高 (供給高)	44,514,227	44,859,674	44,769,341	99.8%
売上総利益 (供給剰余金)	9,257,157	9,721,894	9,693,387	99.7%
福祉事業収入	197,359	204,580	201,733	98.6%
その他事業収入	1,389,179	1,405,560	1,374,528	97.8%
事業総剰余金	10,625,625	11,107,281	11,023,838	99.2%
事業経費	8,990,334	9,227,873	9,469,376	102.6%
人件費	3,705,214	3,696,201	3,774,102	102.1%
物件費	5,285,119	5,531,671	5,695,273	103.0%
営業利益 (事業剰余金)	1,635,290	1,879,407	1,554,462	82.7%
経常利益 (経常剰余金)	1,932,478	2,233,571	1,930,971	86.5%

事業別供給高内訳



貸借対照表の構成比 [2025年3月20日] (単位: 千円)

総資産 39,307,258



・ 総資産のうち自己資本比率は、77.0%でした。総資産の約34.7%は組合員出資金です。内部留保の充実をはかり、経営基盤を強固なものにしていくよう努めています。

コープが 扱う商品



コープながのは、商品供給事業を通して、「安全と安心」「おいしい」「利用しやすい価格」「健康」「楽しい」「便利」「持続可能な社会の実現への貢献」の7つの価値を実現し、組合員のふだんの暮らしを支えます。また、安心して継続利用できる多様な商品の提供方法を追求していきます。

コープ商品

「コープ商品」は、組合員の声をもとに生まれ、組合員の声を反映しながら改良・進化し続けている、日本生協連開発商品です。原材料からしっかり管理され、コープが定めた仕様書に基づき、コープとのパートナーシップが形成された工場に製造を委託して作っています。提供するすべての商品の安全性確保に取り組み、全国の生協組合員が利用しています。

5つの約束

- ① 安全と安心を大切に、よりよい品質を追求する
- ② おいしさと使いやすさを追求する
- ③ 持続可能な社会や暮らしに貢献する
- ④ 利用しやすい価格を実現する
- ⑤ わかりやすい表示と情報を提供し続ける



コープの商品 ▶

特徴ある「コープ商品」



「コープクオリティ」シリーズ
原料や製造方法など、おいしさの理由が明確なコープ商品です。100人規模の組合員モニターテストを行い、8割以上がおいしい（※ややおいしい も含む）と評価した商品で、他商品との違いが明確になっています。



「きらきらステップ」シリーズ
5カ月の離乳期から3歳までの幼児期向け
お子さんの初めての食事に関する悩みを解消し、子育てがより楽になるような商品です。素材を生かしながら使いやすい形状で、対象月齢別に合わせた品揃えがあります。



「きらきらキッズ」シリーズ
3～6歳向け
子どもがいろいろな食べ物に親しみ、おいしさや食べる楽しさを覚えていけるような商品です。モニターの声をいかし、素材や味付けにも配慮しています。



「コープサステナブル」シリーズ
環境や社会に配慮した主原料を使った商品に、共通のロゴマークを付けてシリーズ化しました。こうした商品を“選んで使う”エシカル消費のスタイルが「持続可能＝サステナブル」な社会実現につながります。



「特定原材料を使わない」シリーズ
特定原材料8品目を、使わず持ち込まない専用工場または専用ラインで厳しいチェック体制のもとで製造。アレルギーがある人も、ない人も「いっしょに安心して食べる」ことができ、食事づくりをサポートする商品です。

未来へつなごう

商品を通じて持続可能な社会の実現を目指す目的で、「未来へつなごう」をスローガンとして、消費者に国産の乳製品及び畜産物・野菜・果物の利用消費を呼びかけるキャンペーンを実施しています。



持続可能な未来のために

コープデリグループは世の中に先駆けて持続可能な社会づくりに取り組んできました。その中でも、商品を通じて貢献している4つのプロジェクトをご紹介します。

美ら島応援もずくプロジェクト

沖縄県伊平屋島産のもずく商品の売り上げの一部を「美ら島応援基金」に寄付し、島の美しい自然環境を保護する活動に役立てています。



佐渡トキ応援お米プロジェクト

新潟県佐渡コシヒカリ商品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、環境にやさしい米づくりや生きものを育むための環境づくりに役立てています。



お米育ち豚プロジェクト

飼料用米を配合した餌を豚に与え、その豚肉を組合員にお届けすることで日本のお米作りを支え、畜産業を元気にしています。



ハッピーミルクプロジェクト

コープマークのついた牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善プログラムを応援しています。



CO・OP共済

CO・OP共済は互いに助け合って事を成すことを意味する、組合員の意見や要望から生まれた保障商品です。普段から加入者みんなが少しずつ掛け金を出し合い、病気や災害などで助けが必要な加入者に共済金として一定額をお支払いします。加入者の輪が広がることで組合員の声やニーズに応える商品改定を行っています。

1

進化する保障内容

CO・OP共済は、加入者が増えることで保障内容がよくなりました。幅広い年齢層を保障するコープながのCO・OP共済加入者は、約18万6千人です。(2025年3月現在)

2

使命は「お役立ち」

CO・OP共済は、共済金のお支払いを通じて「組合員のお役に立つ」ことを大切にしています。コープながのでは、2024年度は1年間で約2万5千件、約13億円の共済金をお支払いしました。

3

専門スタッフによる加入相談

コープながの宅配センターの「共済スタッフ」と、各店舗の共済係が、組合員からの保障相談や共済加入のお手続きを行っています。



CO・OP共済
公式サイト▶



コープデリでんき (コープの電気事業) ～くらしと未来にやさしい“でんき”～

「コープデリでんき」は、再生可能エネルギーで発電したFIT電気の比率100%の電気です。再生可能エネルギーの内訳は、地熱20.0%、FIT(水力)30.0%、FIT(バイオマス)30.0%、FIT(風力)15.0%、FIT(太陽光)5.0%、となっています。

※コープながのでの取り扱いとは再生可能エネルギー100%メニューのみ。再生可能エネルギー100%メニューは、生協への電気小売のために設立された日本生協連の子会社・(株)地球クラブからの電気を取り次ぎます。

組合員の“こえ”

コープながのは、組合員から直接声を寄せられる「こえのポスト」「お申し出」「お問い合わせ」のほか、職員が配達の現場などで聞いた「観たこと聴いたことカード」の内容をすべてデータベース化しています。店舗や宅配現場のほか、さまざまな取り組みの中や、広報誌の声など、多くの媒体から声が寄せられます。コープ商品は、組合員の声を形にしてきており、そのスタイルは今も昔も変わっていません。



▲商品コミュニティサイト
「コープ・デリシェ」

（組合員の“こえ”は、このように受け止め、課題にし、生かしています。）



食の安全に関する取り組み

商品検査について

コープながのは、商品の安全性の確保や品質保証を事業活動の最優先事項と考え、コープデリ連合会や日本生協連とともに、原料調達から組合員の手に商品が届くまでの工程における管理システムを構築しています。さいたま市にある「コープデリ商品検査センター」は、商品の微生物検査、残留農薬検査、放射性物質検査、食物アレルギー検査などのほか、組合員からお申し出いただいた商品の検査など年間約3万件の検査を行っています。施設内は見学のほか食の安全にかかわる実験や手洗いチェックなどの学習ができます。



施設紹介



（コープデリ商品検査センター）

コープデリ商品検査センターの役割は、次の3つです。

フードチェーン全体での食の安全の取り組みが機能していることを科学的・客観的に把握します。

食品衛生法や関連する法令、コープデリ自主基準に適合しているか、確認します。

検査データを蓄積・分析し、商品の改善・品質向上に役立てます。

商品の安全性を確保するためには、フードチェーン全体での総合的な取り組みが必要ですが、商品検査はその機能の重要な1つとなります。



食の安全への取り組み （フードチェーン）

ひとつの商品が、生産者から始まり、消費者にわたるまでのつながりをフードチェーンといいます。食の安全は、生産・流通・消費までのフードチェーンに携わる一人ひとりが、食品安全確保のためのバトンをつなぐ「食の安全バトンリレー」全体の取り組みで実現することができます。そのため、フードチェーンの各段階における正確な情報伝達と連携に取り組みます。消費者である組合員もフードチェーンの一員です。組合員と生産者との交流など、信頼の輪を広げる取り組みもおすすめします。



食の安全の取り組み ▶





事業紹介

長野県内では34万人をこえる方が組合員としてコープながのに加入されています。

コープ商品やサービスは親から子へ、お友達へとつながり、その広がりや“よりよい商品や暮らしを”の願いをかたちにして実現してきました。コープながのでは、組合員の皆さまにこれからも安心してご利用いただけるよう、さまざまなリスクへの対策をとりつつ、組合員の暮らしに寄り添い続けます。

宅配事業 ～「つかうほど、じぶんらしく。」～

宅配事業はコープながのの基幹事業で、事業全体の約9割以上を占めています。県内に12ある宅配センターから、組合員のもとへ商品をお届けしています。

宅配を利用する組合員の多くは、毎週届くカタログの中から商品を選んで注文します。

注文方法は専用の注文書に記入するOCR注文のほか、インターネット注文や電話注文などがあり、組合員が自身の生活スタイルに合った注文形態を選ぶことができます。

ウィークリーコープ

- ウィークリーコープは、毎週決まった曜日に注文品をお届けするしくみです。カタログが届いた翌週に注文、その次の週に注文した商品がお手元に届きます。
- ウィークリーコープで取り扱っている商品は、食品や日用雑貨など6,000点以上。CO・OPマークのついたコープ商品だけでなく、農水畜産の産直品や、一般メーカーのナショナルブランド品も多く扱っています。
- 商品は、常温品、冷蔵品、冷凍品、農産品それぞれに適した温度帯に管理してお届けします。また、留守宅へのお届けに、商品が入った箱を保護するデリカバーも用意しています。
- 児童センターなどで利用できる法人向けのサービスがあります。

デリカバー ▶



▲ウィークリーコープ

デイリーコープ(※地域限定)

コープの宅配「デイリーコープ」は、夕食宅配サービスです。栄養バランスを考えたお弁当やおかずの舞菜シリーズをメインに、ミールキット・お惣菜・卵・牛乳などを月曜日～金曜日の週3回以上のご利用でお届けします

手作りおかずが簡単に
CO-OP DELI MEAL KIT
コープデリミールキット



▲コープデリのミールキット



ダイレクトコープ(産地・工場直送便)

産地・工場直送便専用サイトから注文。欲しい商品を宅配便でお届けするサービスです。

※ご利用にはコープデリeフレンズへの登録が必要です。

お届けの形態が
選べます

① 個人宅配

トイレットペーパーや紙おむつなどのかさばるもの、お米や飲料のように重いものも玄関先までお届けします。個配サービスにはご利用手数料がかかりますが、「赤ちゃん割引」「子育て割引」「シルバー割引」「ふれあい割引」の手数料割引制度があります。また、自然災害の被災により、罹災証明書の交付を受けている方が対象となる割引制度があります。

② グループ購入

3人以上集まって利用することで、ご利用手数料はかかりません。

③ ステーション購入

地域の商店やコープの施設で、コープデリ宅配の商品を受け取ることでできるサービスです。個人で利用でき、ご利用手数料はかかりません。

(お届け確認メールサービス)

組合員のお宅へ配達にお伺いした際の①商品お届け状況、②在宅、③不在の情報を離れてくらすご家族にお知らせするサービスです。連絡先を登録していただいた方に、配達時の情報をメールでお知らせします。



(アレルゲン登録)

コープデリ e フレンズでは、アレルギー（特定原材料8品目を含め28品目）の登録が設定できます。アレルギー登録すると、アレルギーが含まれる商品は強調して表示されます。登録と変更はいつでも可能です。

※製造工程上の微量混入(コンタミネーション)は案内していません。
※特定原材料に準ずるアレルゲンは、
情報提供のあった範囲で案内して
います。

アレルギー登録(eフレンズ登録者のみ)▶



店舗事業（移動店舗含む）

コープながのには、コープ長野稲里店（長野市）と、コープ安曇野豊科店（安曇野市）の2つの店舗があります。コープの店舗は食品を中心に、ふだんのくらしに役立つ品揃えを心がけ、楽しくお買い物ができる空間を提供しながら、地域から信頼されるお店を目指しています。お支払いには、便利でお得なプリペイド機能をあわせ持つ「ほべたんカード」があります。また、毎週子育て応援 day とシニア day があり、子育て応援 day にはお買い物時に長野県子育て

パスポート提示で、シニア day にはあらかじめ登録された「ほべたんカード」を提示していただくことで割引を受けられます。

コープ長野稲里店には移動販売車が2台あり、長野市や須坂市から中野市まで約70カ所の停留所を巡回し、地域の皆さまにご利用いただいています。また、コープ長野稲里店周辺にお住まいで、自家用車のない方などの自宅とお店を結んで送迎する「お買い物サポートカー」サービスを実施しています。



店内の様子



お買い物サポートカー

福祉事業

長野市と上田市で介護保険事業を展開しています。長野市には居宅介護支援（ケアマネジャー）と訪問介護が2事業と通所介護1事業所が、上田市には居宅介護支援（ケアマネジャー）と訪問介護が1事業所と通所介護が2事業所あります。

いずれも利用者の皆さまが、住み慣れた家で自分らしくらし続けられるための支援を基本としています。自立した在宅生活を支援するための介護サービス「生協10の基本ケア」を導入し、自分でできること・していることは、できる限り自身で行えるような支援対応に努めています。



レクリエーション【まゆみだ】



作品づくり【国分】



弁当を持って外出【保野】

学校職域事業

県内の小中学校と特別支援学校の教職員組合員を対象に、事業展開をしています。食品・書籍・CD・DVD・雑貨及びガソリン、協力店等のご案内をしています。

また、教職員グループ保険や団体扱いの生命保険・自動車保険を取り扱うほか、提携商社としてタイヤ販売等とともに車両購入紹介サービス、ハウジング、分譲マンションの紹介なども行っています。



正月食品試食会

その他の事業

サービス事業 | (株)コープデリサービス

組合員のくらしに役立つ 4 つの事業を行っています。

ライブなび
ネットショッピング



コープデリ チケット

公演・レジャー施設のチケット販売



コープデリ ハウジング

新築・リフォームなど住まいに関するサービス



コープデリ くらしのサービス

エアコン・ハウスクリーニング・ふとん丸洗い・ふとんリフォーム・宅配クリーニングなどのサービス



コープデリの お葬式 コプセ

葬儀・墓石など葬祭に関するサービス



※祭壇は一例です。

保障事業 | (株)コープデリ保険センター

組合員を対象にした損害保険及び生命保険の取扱（募集）代理店です。

取扱商品は、コープの団体保険、自動車保険、火災保険、ペット保険、生命保険、医療保険、がん保険等です。また、組合員向けに無料の保険相談を行っています。



▲保険センター
トップページ

※ (株)コープデリサービス、(株)コープデリ保険センターともコープデリ連合会の子会社です。

さまざまな 取り組み



コープながのを支えるもののひとつに、組合員活動があります。コープながのの理事会が企画する学習会をはじめ、組合員スタッフが企画・運営する学習会、オンラインを活用した学習交流会、屋外企画など、組合員が参加できるプログラムを考えながら「くらし」にかかわる学びなどの取り組みを行っています。

さまざまな取り組みを紹介するSNS

Instagram

コープながの公式
みんなの参加の場



YouTube

コープで取り扱っている
商品などを紹介する
コープながのチャンネル



Instagram

コープデリ連合会公式



さまざまな参加の場の紹介

コープに加入すると、商品やサービスを利用することのほか、多岐にわたる「参加の場」があります。

コープ会・Baby & Kids コープ会

メンバーになった組合員が集まって楽しくおしゃべりする場がコープ会です。会場に集まっておしゃべりするリアルコープ会と、webでつながっておしゃべりするオンラインコープ会があります。

おうち de お茶しよ!

お家で身近な家族やお友達を誘って、コープのお茶などを味わいながら身近な話題でおしゃべりする企画です。

学習会・講演会

くらしに役立つさまざまな情報を得たり学んだりする場を設けています。会場でのリアル開催企画のほか、資料を使って自宅で学ぶことができる送付型企画、自宅にしながら参加できるオンラインを活用した企画、バスを使った見学企画も実施しています。

子育てを応援

長野稲里店に併設された子育て応援施設では、子育てひろばのほか幼児一時預かりなどを実施。安曇野豊科店では、子育てひろばほっとーむを隔週で開催しています。地域では、ベビーマッサージや子育てワークショップなどを不定期で開催します。

コープサークル

組合員が5人以上集まると、自主的な活動をする「コープサークル」を作ることができます。コープサークルは、コープから運営費の補助などが受けられます。

平和を考える

コープながので大切にしている取り組みの1つです。県内にある戦争遺跡や平和関連施設の見学を企画するほか、学習会や原爆パネル展を実施し、普段のくらしの中で平和について考えるきっかけを作っています。

屋外企画「がっこう」シリーズ

自然環境や食について考えるコープの屋外企画「がっこうシリーズ」は、4つあります。

がっこうシリーズについて ▶



（ 森のがっこう ）

長野県がすすめる「森林（もり）の里親契約促進事業」を活用し、3つのNPOと「森林（もり）の里親契約」を締結しています。これらの団体の協力のもと、森や里山を知り、活用する活動を行っています。



（ 田んぼのがっこう ）

田植えや田んぼの中の生きものさがし、稲刈りなどを通じて、私たちが主食にしているお米ができる環境や育つ様子を学び、稲作の現状を知ることができます。



（ 川のがっこう ）

身近な川をフィールドに、川の中や周辺の生きものを探したり触れたりしながら環境について学びます。また、川に入る際に注意すべきことなど水辺に関して知って体感する企画を行っています。



（ 畑のがっこう ）

畑で農作業をすることで土に触れ、自然や農業についての理解を深めます。JA あづみの協力のもと、30年以上続いている「ふれあい農園」のほか、JA 上伊那の協力によりアスパラガスの収穫体験などを行っています。



社会貢献・ 環境問題への 取り組み



コープながのは、食の安全と安心を第一に事業を通して組合員のくらしに貢献すると同時に、さまざまな取り組みを続けています。誰もが安心してらせる豊かな地域や、持続可能な社会実現のため、小さなことから実施しています。



コープデリグループ「サステナビリティ」サイト▶

事業者としての省エネと CO₂削減への取り組み

コープの施設の屋根の上に太陽光パネルを設置し、発電した電気を利用しています。また、再生可能エネルギーで発電された電気の利用を広めるため、組合員向け「コープデリでんき」の取次事業も行っています。営業車に電気自動車を導入するなど、CO₂削減への取り組みをすすめています。

貧困問題を考える取り組み

日本生協連主催の「子どもの未来アクション」の取り組みをすすめるほか、貧困問題にかかわる「未使用文具寄付キャンペーン」を継続して行っています。文具は県内のNPO法人等を通じて必要とする家庭に届けられます。宅配のシステム上発生するグロスリーセンターでの予備商品等は、認定特定非営利活動法人フードバンク信州へ定期的に提供を行っています。また、コープ長野稲里店をフードドライブ開催場所として提供しています。

プラスチックスマートを目指す取り組み

不要なプラスチック製品を断ること、できるだけ使い捨てプラスチックを使わないこと、使い捨てせず繰り返し使うこと、使ったプラスチックをリサイクルに回す消費行動を組合員に呼びかけています。コープ商品包材の仕様も見直し、ノントレー商品やラベルのないPET飲料容器の開発、再生プラスチックを使った商品包材を使うなどをすすめています。

リサイクル循環を目指す取り組み

宅配ではコープのカatalogや注文書、ペットボトル容器とキャップ、飲料の紙パック、卵パック、食品発泡トレー、商品お届け時のポリ袋等を回収し、リサイクルしています。店舗ではアルミ缶の回収も行っています。

他団体との協力

社会福祉協議会や、認定特定非営利活動法人フードバンク信州など、県内の各団体との継続的な関係づくりをすすめ、横のつながりを構築しています。取り組みに賛同・参加・協働することで地域に貢献しています。

県および市町村との協定締結と 宅配のしくみを活用した地域の見守り

コープながのは、地域でくらししている高齢者・障がい者・子どもなどの見守りを心がけ、安心してくらし続けることができるよう、長野県をはじめ40市町村と見守り協定を結んでいるほか、市町村独自の見守りネットワークに加入しています。日々の配達業務の中で、万が一異変を感じた場合には、行政や関係者に連絡をとっています。（MAPはP16）

SDGsを推進し、 持続可能な社会を目指す取り組み

コープながのはコープデリグループとともに「ビジョン2035」の取り組みを通してSDGs達成に貢献します。長野県SDGs推進企業としての登録のほか、NAGANO SDGs PROJECTへの協賛など、さまざまな場面で協力しています。

安全運転や交通安全に関する取り組み

地域の生活道路を使って配達を行うコープの宅配では、安全を最優先課題として普段から安全運転を心がけています。全職員がSDカードを取得し、安全運転事業として15年連続で表彰されました。また、地域の保育園などに協力し、コープデリの交通安全教室を開催しています。



交通安全教室

組合員どうしの助け合い活動の取り組み

コープながのには、組合員どうしの助け合い活動「くらしサポート活動まごころ」があります。「まごころ」は、困っている人を、その時できる人がサポートする組合員どうしで助け合うしくみです。身近な地域の中で、誰もが自分らしく、その人らしく生きられる社会を目指します。

人と組織づくり

人材育成（教育・研修）

新規採用の職員は、コープデリ連合会で統一された採用時研修を受講します。さらに共済や安全運転、さまざまな取り組みなどに関する独自研修を受講し、業務に必要な知識、スキル、ビジネスマナーなどを学びます。

入職後も先輩職員の同行支援やOJTの中で業務を習得する仕組みができています。また、職務や経験に応じた集合教育や、日本生協連を主とした通信教育に加え、書籍の斡旋、資格取得支援など、自己啓発やキャリアアップのための総合的な仕組みをいかしながら人材を育成しています。さらにコミュニケーション研修やリーダーシップ研修など、キャリアに合わせた研修を実施しています。



職員研修

ワークライフバランス

コープながのは、職員が仕事と家庭のバランスを保ちながら能力を発揮できるよう、多様な働き方に対応する各種制度の整備と改善に取り組んできました。2024年度は、育児休職・介護休職に加え、配偶者出産休暇(7名)、子の看護休暇(16名)等、短期の休暇についても利用者がいました。男女を問わず、さらに利用しやすい制度となるよう周知することで職員の理解を深め、働きやすい職場作りをすすめていきます。また、組合員や地域社会の期待に応え、貢献することに誇りと生きがいを感じる組織風土作りを目指しています。2025年は職員の働き方の見直しの1つとして、宅配事業で夏季一斉休暇を設けることにしました。



内部統制システム

コープながのは、組合員や社会の期待に応えて社会的責任を果たしていくため、理事会などの政策検討・執行機関でのガバナンス(組織統治)により透明性、公正さ、適正さを確保しながら健全な経営をすすめるとともに、すべての役職員がコープデリグループの「行動指針」「行動規範」に従って自らを律し、法令、内部ルール、モラルの遵守を行い、倫理的組織風土の構築に努めています。

また、「内部統制に関わる基本方針」を定め、コンプライアンス体制・情報管理体制・リスク管理体制・効率性確保体制・グループ会社など業務適性確保体制・監事監査確保体制・監事への報告に関する体制の整備を進めています。

監事会

常勤監事1名と有識者監事(弁護士・税理士)2名、組合員監事2名の計5名の監事が、会計と理事の職務執行を監査し、コープながのの運営が健全に機能しているかチェックしています。

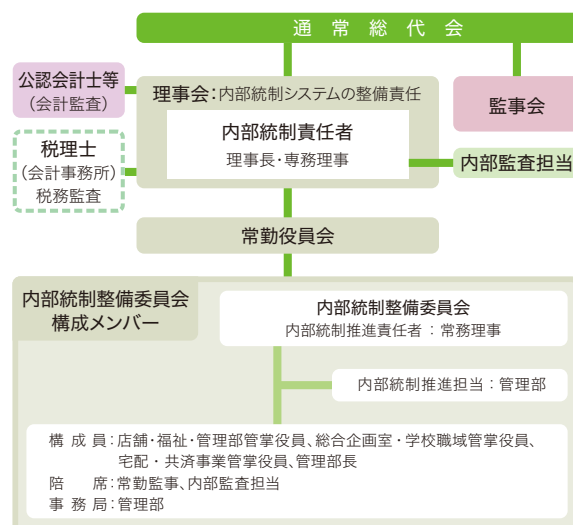
内部監査(業務監査)

専務理事の下に専任の内部監査担当を置いています。各部署の業務の有効性や効率性、適法性に関する状況及び内部統制の整備状況などの業務遂行状況を監査しています。2024年度の定型業務監査は25事業所・部署で、15項目にわたるコープデリ連合会統一のチェックリスト等に基づく点検を行い、監査結果は定期的に専務理事に報告するとともに、常勤役員会へ報告しています。

コープながの役職員の行動指針

組合員のくらしと未来のために組合員の立場に立って「安心と信頼」「挑戦と学び」「コミュニケーションと感謝」を大切にします。

内部統制の推進組織（2025年度）



※内部統制：組織内部において、違法行為や不正などが発生することなく、組織が健全かつ有効・効率的に運営されるように業務の基準や手続きを定め、管理や監視をすること。

コープながの
「コンプライアンスの考え方」▶



日頃より、さまざまな事業と活動にご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

能登半島地震から1年半、東日本大震災から14年が経過しました。世界、各地域では異常気象による多くの災害が発生しています。また、紛争や戦争により、たくさんの尊い命が奪われ、分断と対立が深刻化しています。

このような世界の動きが、私たちの暮らしに直接影響を与える事象が多く顕在化している中で、私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力を大切にし、地域社会の発展と持続可能な未来の実現に寄与することを目指しています。

コープながのは、組合員が34万人を超え、県内世帯の約4割が加入する事業規模463億円の県内最大の消費者組織となりました。「豊かにくらしたい」「安心してくらしたい」という一人ひとりの願いを大切にし、事業や活動を通じて地域の課題にしっかりと向き合い、組合員、地域のみなさまとの絆を深め、未来を担う子どもたちにより良い環境を残すために努力してまいります。

みなさまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



生活協同組合コープながの
理事長

丸山 辰明

行政との協定・協力

地域見守り活動に関する協定

コープながのは、地域にくらしている高齢者、障がい者、子どもなどの見守りを心がけ、安心してくらし続けることができるよう、長野県をはじめ40市町村と協定を結んでいます。また、協定のほか、市町村独自の見守りネットワークに加入しています。日々の配達業務の中で、万が一異変を感じた場合には、行政や関係者に連絡をとっています。

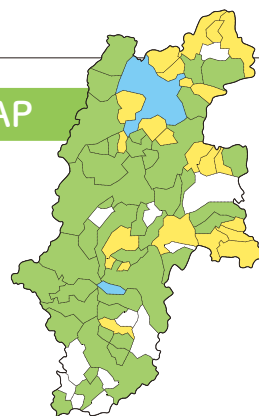
災害時における応急支援物資等に関する協定

万が一、災害が起こった時に、お互い協力して住民生活の早期安定をはかるため、応急生活物資の供給及び運搬に関して積極的にコープながのが協力するものです。



地域との協定 MAP

- 災害協定・見守り協定締結自治体
- 見守り協定締結自治体
- 災害協定締結自治体



長野県 SDGs 推進事業への登録

「SDGs 未来都市」に認定された長野県。それに伴い創設された「長野県 SDGs 推進企業登録制度」に、コープながのが登録しています。



コープながのガイド 2025

発行：生活協同組合コープながの

お問い合わせ：総合企画室 〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川 668

TEL.026-261-1223 FAX.026-261-1219 <https://nagano.coopnet.or.jp>



電子ブック



コープながのWebサイト



「ほべたん」

ほべたんは、コープデリグループのマスコットキャラクターです。「ほべたん」は、おうちで食べるごはんが大好きな5歳の男の子。コープデリの配達員さんが来ると「おいしいの、とどいたよ」ってパパやママにお知らせするのが楽しみ。自転車に乗って、コープのお店に行くのも大好きです。